

事業計画書

事業名	西浦レモネードのブランド価値向上・フードロス削減プロジェクト
実施場所	西浦地区
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 2024年 6月 1日 ~ 2025年 3月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

規格外品の西浦レモネードを活用した、ストレート果汁100%のドリンク開発を実施する。西浦レモネードは現状ブランド知名度が低いことに加え、生産量のうち規格外品の割合が2割を超えることが大きな課題となっている。そこで、規格外品を活用した新たな魅力ある商品を開発することで、西浦レモネードが抱える上記2点の課題解決を目指す。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。西浦地区の地域産品である柑橘類は、全国的なブランド認知度の低さや未活用の規格外品が地域課題となっている。

この地域課題を解決する第一歩として、昨年度は西浦地区のみかん農家と連携して規格外の西浦みかん活用を検討、日本初となるみかん果汁100%のスパークリングドリンクを開発した。そして、上記取り組みを推進していく中で、西浦レモネードは西浦みかん以上にブランドの認知度が低く、規格外品の発生率も高いことが課題になっていると分かった。

（参考：規格外品の割合 西浦みかん…約10%以下 西浦レモネード…約20%超）

そこで、昨年度の西浦みかん商品開発で培った知見を生かし、西浦レモネードのおいしさや魅力を最大限引き出せる、規格外品を活用した商品開発を実施することで、西浦地区における柑橘類のブランド認知度やフードロス問題といった課題解決を目指す。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
24年6月	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。 商品開発の試作実施（委託加工先を活用） 商品デザイン、ネーミング検討
24年7月	商品デザイン、ネーミング決定
24年8月 ~25年1月	販路開拓の営業活動
25年2月	ラベル製作開始
25年3月	量産開始、商品リリース (西浦レモネードの収穫時期が3月のため、商品の販売開始は3月以降)

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用できていなかった規格外品の新規需要創出 ・規格外品の廃棄減少によるフードロス削減 ・西浦地区で栽培されている柑橘類のブランド価値向上 ・規格外品に新たな付加価値が生まれることによる、一次産業の所得向上 			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。</p> <p>ブランド価値向上 ⇒新規販路：10店舗以上開拓</p> <p>フードロス削減 ⇒規格外品：1トン以上使用</p>	指標の 検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載してください。</p> <p>仕入および売上の実績値</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的 必要性	<p>※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。</p> <p>西浦みかんに次ぐ地域産品として、西浦レモネードのブランド価値や知名度の向上を目指す取り組みは、沼津というまちの新たな魅力づくりとして非常に有益であると考えている。</p> <p>また、本プロジェクトを通して西浦レモネードの認知度が高まることで、沼津という地域全体で更なる西浦レモネードの利活用が進むことを狙う。</p>
地域性	<p>※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。</p> <p>西浦レモネードという地域資源が抱えている、ブランド知名度や規格外品という課題解決に向けたプロジェクトのため、地域性は十分にあると考える。</p> <p>西浦レモネードの原料確保は JA ふじ伊豆の西浦みかん営農センターと連携して実施するため、地域全体を巻き込む形でのアプローチとなる。</p> <p>また、西浦レモネード新商品は地元事業者の期待が高く、企画段階で既に取扱希望の事業者様もいる。商品を通して地元の事業者様を盛り上げることが可能。</p>
独創性	<p>※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。</p> <p>本プロジェクトでは、西浦レモネード果汁100%ドリンクの商品化を目指す。既存の西浦レモネード加工商品は、JA ふじ伊豆の「スイートレモネード」(果汁30%)およびマックスバリュ東海の「西浦レモネードサワー」(果汁1%)であり、どちらも皮の苦みを軽減するために加糖されている。</p> <p>ストレート果汁100%の商品は存在しておらず、新規性・チャレンジ性は高いと考えている。</p>
実現性	<p>※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。</p> <p>本プロジェクトの実施に必要な資金は既に確保済である。</p> <p>また、昨年度の西浦みかん商品開発で培った知見やコネクションを活用できるため、スケジュール面や関係者とのコミュニケーションも問題ない見込み。</p>
発展性	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。</p> <p>西浦みかん商品開発の先事例により、既に沼津内外への販路を有しているため、本プロジェクトで新規開発する商品は、広範囲に販路の展開が可能。</p> <p>また、規格外品の西浦レモネードは JA ふじ伊豆側でも課題意識を持っており、特に原材料費について中長期的に JA ふじ伊豆の助成金を活用できるため、継続的かつ多角的な資金確保を順調に進めることができている。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

現在は、商品開発という手段を通して地域産品のブランド価値やフードロスといった課題の解決に取り組んでいるが、今後は耕作放棄地を活用した農業体験や、空き家をリフォームした農産物加工施設での加工体験へと事業内容の拡大を検討している。

上記のような体験型の事業を通して、より直接的に沼津というまちの魅力PRに取り組んだり、新たなコミュニティを形成することが可能になると考えている。

次年度以降の事業進捗に応じて、ソフト部門（ステップアップ型）や、ハード部門での助成を希望させて頂きたい。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。